

日々の田高（人間と社会 一人1台端末を使用したワーク）

今回の人間と社会は、一人1台端末を使用したグループワークです。教科書の単元「自然と生命に関する現代社会の課題について調べ、科学技術が進歩する中で、自然とどう関わり、命の問題についてどう考えるか。」というテーマで学習します。

与えられたいくつかのキーワードの中から、自分の琴線に触れる言葉を調べていきます

①キーワードの定義、②関連する量的データやグラフ、③キーワードに関する論点、④論点に関する自分の考えの順で、グループで進めます。

海洋プラスチックゴミ、クローン技術、デザイナーベビー、安楽死などなどのキーワードから、生徒一人一人が選びます。

自分で取り上げたテーマを日本と外国の違いから深掘りする生徒、関係するデータを調べる生徒、それぞれが自律的に取り組みます。

特に、選んだキーワードに関する論点についての自分の考えでは、「奥が深いので、今の時点ではなんともいえない」と答える生徒や「この技術は、使うと危ないのでは？」と、話す生徒。正解が何と明確には示せない論点に、悩みながらも自分の考えを表現する生徒たちの姿に、頼もしく感じました。

